

**授業概要**

「女性はどのように描かれてきたか」をテーマとして、中世からエリザベス朝の文学作品を読む。聖書の記述から始まり、中世サイクル劇やシェイクスピアの演劇作品、チャーターやアーサー王伝説、さらには人気の高かった恋愛指南の書なども読んでみたいと思っている。また、絵画などの美術作品からも多様な女性像を読み解いていく。

**授業計画**

第1回	聖書と絵画が描くイブとマリア（その1）
第2回	聖書と絵画が描くイブとマリア（その2）
第3回	チャーターが描く女性像（その1）
第4回	チャーターが描く女性像（その2）
第5回	チャーターが描く女性像（その3）
第6回	中世演劇が描く女性像（その1）
第7回	中世演劇が描く女性像（その2）
第8回	中世演劇が描く女性像（その3）
第9回	アーサー王と女性崇拜（その1）
第10回	アーサー王と女性崇拜（その2）
第11回	シェイクスピアが描く女性像（その1）
第12回	シェイクスピアが描く女性像（その2）
第13回	シェイクスピアが描く女性像（その3）
第14回	エリザベス女王の肖像画を読む
第15回	総まとめ（筆記試験）

**履修上の注意**

旧約・新約聖書からはじまり、チャーター、アーサー王伝説、サイクル劇、シェイクスピアなど、大量の作品を読むことになる。出席して板書を書き写しているだけで事足りる授業ではない。

**評価方法**

定期試験の結果に、レポートを加味する。

**テキスト**

教材を配布する。その他に、

必読書 旧約聖書 新約聖書

参考書 『カンタベリー物語』 榊井 迪夫訳 岩波文庫（全3巻）

『アーサー王の死』 トマス・マロリー 井村君江訳 筑摩書房（全5巻）

『シェイクスピアの女たち』 青山誠子著 研究社など